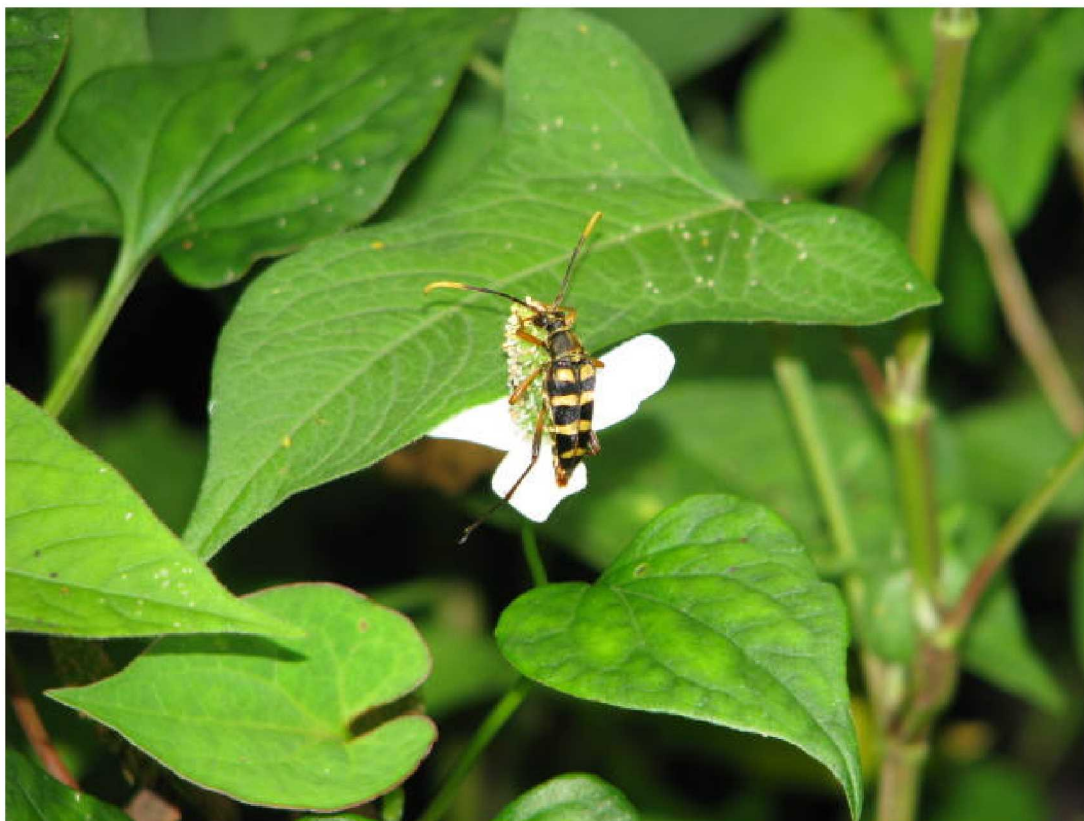


「今月の1枚」



シコクヨツスジハナカミキリ（カミキリムシ科） *Leptura ochraceofasciata ochrotela*

ハナカミキリの仲間は名前の通り、花に集まってきて、植物の花粉や蜜を食べますが、花粉を運ぶ役割も果たしていて、森林生態系の中の重要な一員です。

ヨツスジハナカミキリは北海道から南西諸島まで見られる種ですが、日本産は6つの亜種に分けられていて、四国・九州産のものは亜種シコクヨツスジハナカミキリとされています。四国では低山から亜高山帯まで生息し、成虫は6月から8月ごろ出現します。写真はドクダミの花にやってきたところです。

（写真：松本剛史、文：佐藤重穂 2008年7月11日 高知県香美市にて撮影）

（No.174 2008. 7. 30 掲載）